



ハマボウ(洲本市・成ヶ島)

わたしたちのまちの 景況レポート No. 22

2020年4~6月期実績・2020年7~9月期見通し

今日も 楽しい おつきあい



淡路信用金庫

調査概要

- 調査時期 : 2020年4～6月期実績・2020年7～9月期見通し
- 調査方法 : 当金庫の営業店職員による「聴取り」調査
- 調査企業数 : 682社

製造業	156社	卸売業	100社	小売業	117社
サービス業	117社	建設業	143社	不動産業	49社
- 調査地区 : 当金庫事業地区（洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市）
- 分析方法 : D. I.（「良い」「増加」「上昇」の回答割合 - 「悪い」「減少」「下降」の回答割合）
 ※不変部分を除き、「良い」「悪い」のどちらの力がどれだけ強いかを調べる方法

指標	内容	プラス	マイナス
業況	調査時点での回答企業の業況「良い」-「悪い」	良い > 悪い	良い < 悪い
売上額	前期(四半期)と比較した売上「増加」-「減少」	増加 > 減少	増加 < 減少
収益	前期(四半期)と比較した収益「増加」-「減少」	増加 > 減少	増加 < 減少
販売価格	前期(四半期)と比較した販売価格「上昇」-「下降」	上昇 > 下降	上昇 < 下降
仕入価格	前期(四半期)と比較した仕入価格「上昇」-「下降」	上昇 > 下降	上昇 < 下降
人手過不足	調査回答時点での人手「過剰」-「不足」	過剰 > 不足	過剰 < 不足
資金繰り	前期(四半期)と比較した資金繰り「楽」-「苦」	楽 > 苦	楽 < 苦

設備投資企業割合 設備投資実施の有無

例

人手不足▲50とは

人手	(1)過剰 (2)やや過剰 (3)適正 (4)やや不足 (5)不足
----	-----------------------------------

↓ 回答数を集計し、回答割合を算出

	(1)過剰	(2)やや過剰	(3)適正	(4)やや不足	(5)不足	合計
回答数	35	35	210	280	140	700
回答割合	5.0%	5.0%	30.0%	40.0%	20.0%	100.0%

$$\text{人手不足} = \underbrace{10}_{(1)+(2)} - \underbrace{60}_{(4)+(5)} = \text{▲}50$$

業種別地区別天気図

業種	全事業地区 (682先)			淡路地区 (392先)			神明地区 (290先)		
	2020年 1~3月 (前期)	2020年 4~6月 (今期)	2020年 7~9月 (見通し)	2020年 1~3月 (前期)	2020年 4~6月 (今期)	2020年 7~9月 (見通し)	2020年 1~3月 (前期)	2020年 4~6月 (今期)	2020年 7~9月 (見通し)
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
サービス業									
建設業									
不動産業									

好調 ← → 低調

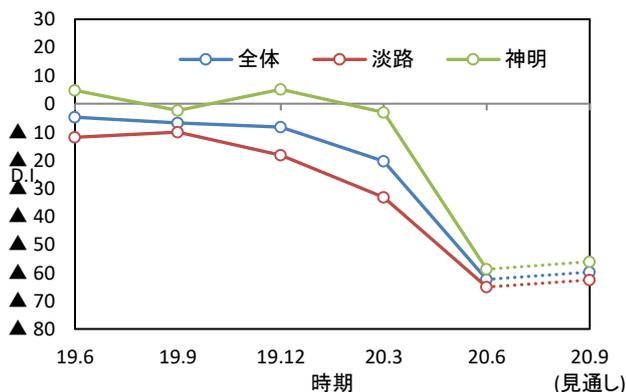
全業種

前期 今期 来期

今期(2020年4~6月期)の業況は▲62.4となり、前期(2020年1~3月期)に比べ42.0ポイント下がった。新型コロナウイルス感染症拡大による打撃の大きさが鮮明となり、悪化幅は、調査開始の2015年3月期以降最大であった前回はさらに上まわる結果となっている。

業種別にみても全業種で悪化し、地区別では、神明・淡路地区ともマイナス幅が拡大した。

業況判断 D.I. の推移 (地区別)



コロナ禍によるヒト・モノ・カネの流れが地域、業種、規模を問わず停滞したことにより、人手過不足については、24ポイント緩和するものの、資金繰りについては、▲25.6と前期比19.8ポイント悪化し、企業の厳しい資金繰りが浮き彫りになった。

来期(2020年7~9月期)の予想業況判断D.I.は、緊急事態宣言の全面解除要因により売上額・収益のマイナス幅は縮小見込みであるが、業況としては、今期と変わらず、コロナ禍収束時期の不確実性が強く表れている。

	20年3月 (前期)	20年6月 (今期)	20年9月 (見通し)
業況 (D.I.)	-20.4	-62.4	-59.8
売上額(前期比)	-22.4	-60.9	-33.0
収益(前期比)	-24.3	-61.1	-32.6
販売価格(前期比)	-1.0	-15.7	-6.0
仕入価格(前期比)	12.9	3.2	6.2
人手過不足(過剰-不足)	-31.7	-7.7	-11.5
資金繰り(楽-苦)	-5.8	-25.6	-21.0
設備投資実施企業割合(%)	20.4	19.4	18.6

製造業

前期



今期



来期



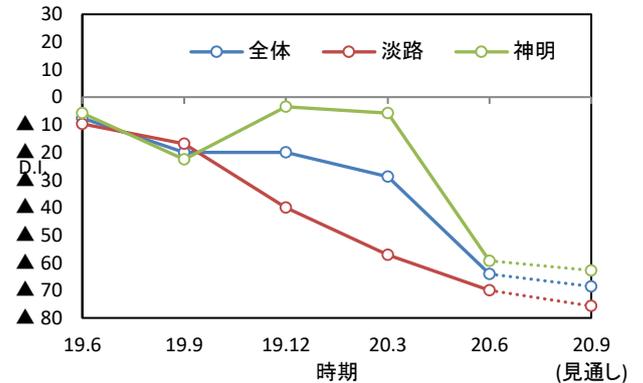
今期の業況は、新型コロナウイルス感染症拡大による経済・消費の停滞により▲64.1と前期比35.3ポイント悪化した。地区別では、淡路地区は前期比▲12.9ポイントに対し、神明地区は▲53.5ポイントと急激に悪化している。長年課題であった人手不足は、1.9とマイナスから初めてプラスに転じたが、コロナ禍による生産縮小の影響と思われる。資金繰りは、▲28.2と前期の▲10.3からマイナス幅が拡大し、今後も厳しい状況が続く見込み。来期の業況見通しは、コロナ禍の収束時期が不透明であり、さらに悪化となっている。

お客様の声

得意先飲食業の営業自粛により、当社の従業員の勤務時間見直しや休暇の取得により生産調整を行っている。コロナ禍収束後の売上増加に向け設備投資を計画的に実施予定。(淡路)

緊急事態宣言中は、在宅勤務や時短営業により業務を縮小し対応。6月以降は生産量・営業時間を徐々に戻しているが、イベント関係等はまだ自粛しており、今期の減収は避けられない状況。(神明)

業況判断 D.I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	20年3月 (前期)	20年6月 (今期)	20年9月 (見通し)
業況	-28.8	-64.1	-68.6
売上額(前期比)	-28.2	-56.4	-41.7
収益(前期比)	-32.1	-60.3	-41.7
販売価格(前期比)	-2.6	-9.0	-5.8
仕入価格(前期比)	23.7	9.6	7.1
人手過不足(過剰-不足)	-25.8	1.9	0.6
資金繰り(楽-苦)	-10.3	-28.2	-31.4
設備投資実施企業割合(%)	23.7	20.1	16.2

卸売業

前期



今期



来期



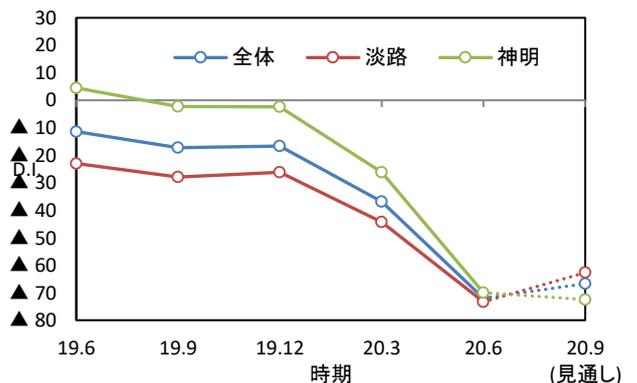
今期の業況は▲72.0と、前回調査時における今期見通し(▲57.3)以上にコロナ禍の影響が大であり、特に神明地区のマイナス幅(▲26.2→▲70.0)が大きい。また消費者心理の悪化や在庫率の上昇が響き、売上額・収益とも約30ポイントマイナス幅が拡大した。人手は▲24.3から▲3.0と数字面では改善しているが、コロナ禍の影響によるものと思われる。資金繰りは▲16.0と悪化しており、来期も依然厳しいD.I.結果が見込まれている。

お客様の声

コロナ禍により販売先が減少し、売上が停滞。在庫過剰となり在庫管理が課題。一部商品の入荷に遅れが発生しており、代替商品で対応できないか模索中。(淡路)

コロナ禍による学校関係の休業、休校により受注は大きく減少、今後、運動会等各種行事が中止となれば、収益面で厳しくなる。(神明)

業況判断 D.I. の推移 (地区別)



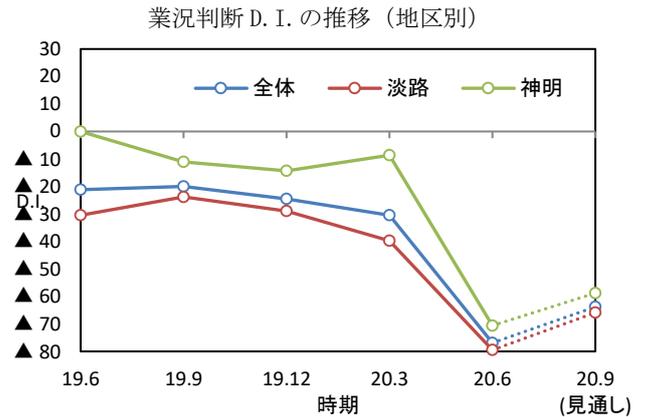
(D.I.)

	20年3月 (前期)	20年6月 (今期)	20年9月 (見通し)
業況	-36.9	-72.0	-66.7
売上額(前期比)	-35.9	-66.0	-32.0
収益(前期比)	-34.0	-66.0	-31.0
販売価格(前期比)	-4.9	-16.0	4.0
仕入価格(前期比)	-1.9	-8.0	9.0
人手過不足(過剰-不足)	-24.3	-3.0	-8.0
資金繰り(楽-苦)	0.0	-16.0	-13.0
設備投資実施企業割合(%)	16.0	16.0	11.1

小売業

前期 今期 来期

コロナ禍による店舗の休業・営業時間短縮、外出自粛等の影響を受け、今期の業況は▲76.9 と前期比46.4 ㊦低下した。収益面では、仕入価格は下降したものの販売価格がそれ以上に下降しており、売上額は▲73.5、収益は▲70.1 といずれも景気D.I が過去最低となった。人手は6.9 (前期は▲17.9) とプラスに転じるも経済活動の縮小要因と思われる。資金繰りは▲41.9 と前期比28.3 ㊦悪化し、長期的な影響の懸念が伺える。来期の業況も▲63.8 と厳しい状況が続く見込み。



お客様の声

商品製造の遅延により仕入れに支障をきたしており、コロナ禍収束後も長期間在庫不足が続く見通し。

(淡路)

新型コロナウイルスの感染症拡大により店頭販売は減少したが、インターネット販売でカバーできている。

今後は、テレビ等メディアを活用した商品PRに注力する。

(神明)

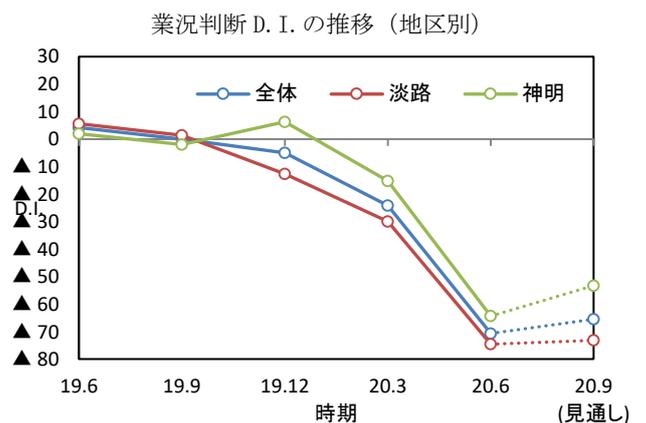
(D.I.)

	20年3月 (前期)	20年6月 (今期)	20年9月 (見通し)
業況	-30.5	-76.9	-63.8
売上額(前期比)	-37.3	-73.5	-41.0
収益(前期比)	-39.0	-70.1	-41.0
販売価格(前期比)	-0.8	-25.6	-12.0
仕入価格(前期比)	3.4	-9.4	2.6
人手過不足(過剰-不足)	-17.9	6.9	-10.4
資金繰り(楽-苦)	-13.6	-41.9	-34.2
設備投資実施企業割合(%)	14.5	11.4	19.5

サービス業

前期 今期 来期

今期の業況は▲70.7 と前期比46.6 ㊦悪化し、調査開始以来最も厳しい状況となった。売上額は▲76.1、収益も▲76.1 といずれもマイナス幅が拡大した。人手は、コロナ禍による経済活動制約の影響により34.9 ㊦マイナス幅が縮小するも、資金繰りは、前期比30.7 ㊦悪化とコロナ禍の打撃により厳しさが増している。来期の業況は、若干改善するも依然低水準になる見通し。



お客様の声

経済活動の自粛により長期間の休業を余儀なくされ、再開後も時短営業や一部施設の閉鎖等で厳しい状況が続いている。回復まで事業の抜本的な改革が必要と考えている。

(淡路)

コロナ禍により外来患者が減少、高齢の入院患者が多く、院内感染のリスク回避の観点から新たな患者の受け入れが難しくなっており稼働率が下がっている。

(神明)

(D.I.)

	20年3月 (前期)	20年6月 (今期)	20年9月 (見通し)
業況	-24.1	-70.7	-65.5
売上額(前期比)	-29.3	-76.1	-28.2
収益(前期比)	-25.9	-76.1	-29.9
販売価格(前期比)	0.0	-16.2	-6.8
仕入価格(前期比)	10.5	0.9	6.0
人手過不足(過剰-不足)	-40.9	-6.0	-14.7
資金繰り(楽-苦)	-10.3	-41.0	-23.1
設備投資実施企業割合(%)	24.3	22.8	24.3

建設業

前期



今期



来期



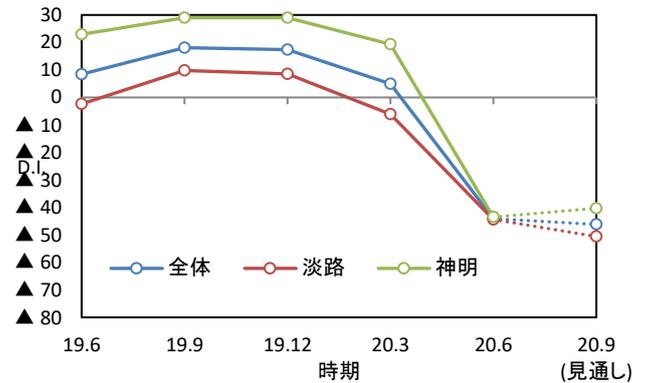
今期の業況は、▲44.1（前期比▲49 ㊦）とマイナスに転じ、コロナ禍の影響により急速に悪化した。地区別では、淡路地区（前期▲6.1→▲44.4）、神明地区（前期 19.4→▲43.5）と神明地区の悪化幅が大きい。収益面では、仕入価格は横ばいながら、工事現場及び商談の中断・延期等の要因もあり売上額は、▲48.3と前期比 52.5 ㊦低下、収益も▲49.7と同 46.9 ㊦低下しマイナス水準となった。急激な受注落込み、不採算受注の増加から資金繰りもマイナスとなり、来期の業況は、コロナ禍の収束時期の不透明感から、さらにマイナス水準を見込んでいる。

お客様の声

コロナ禍による住宅資材の一部の入荷遅延が工期に影響している。島内の新築住宅着工戸数は、鈍化傾向で推移すると見込んでおり、リフォーム等小口工事に注力している。（淡路）

新型コロナウイルスの影響により工事の遅延、見直しが発生。今後大手ハウスメーカーの着工件数減少が見込まれており中長期的に影響を受ける懸念がある。（神明）

業況判断 D.I. の推移（地区別）



(D.I.)

	20年3月 (前期)	20年6月 (今期)	20年9月 (見通し)
業況	4.9	-44.1	-46.2
売上額(前期比)	4.2	-48.3	-28.0
収益(前期比)	-2.8	-49.7	-24.5
販売価格(前期比)	1.4	-17.5	-7.7
仕入価格(前期比)	20.8	18.2	9.8
人手過不足(過剰-不足)	-53.1	-25.9	-28.4
資金繰り(楽-苦)	1.4	-10.5	-8.4
設備投資実施企業割合(%)	21.8	24.6	21.0

不動産業

前期



今期



来期



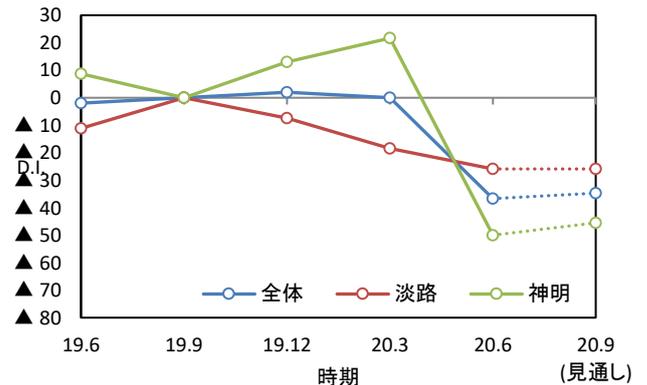
今期の業況は▲36.7 とマイナスに転じ、特に神明地区では▲50.0 と前期から 71.7 ㊦悪化した。収益面では、コロナ禍による経済の縮小から消費マインドの低下により、販売価格・仕入価格ともマイナス水準になった。資金繰りも▲4.2 と悪化しており、来期の業況は▲34.7 と今期実績と変わりなく、コロナ禍の収束時期の不透明感が見受けられる。

お客様の声

新型コロナウイルス感染症により相談件数は減少。今後は今まで以上に Web サイト等を利用した宣伝活動に注力し、販売網の拡充を目指す。（淡路）

事業用地の仕入価格は引続き高値で推移の為、採算の合う仕入れが行えず在庫は不足気味。コロナ禍により住宅購入希望者の動きは鈍化傾向にある。（神明）

業況判断 D.I. の推移（地区別）

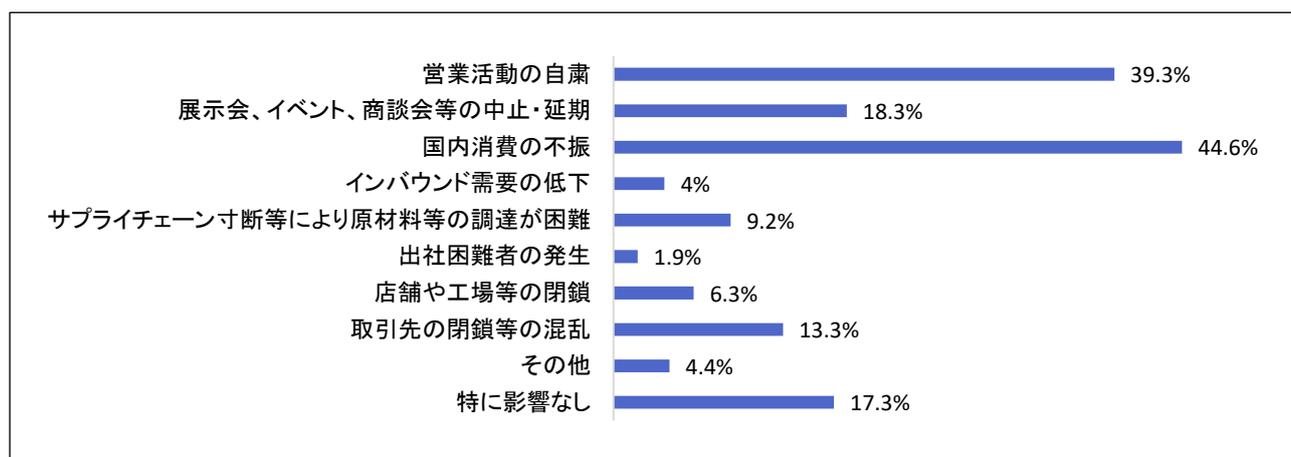


(D.I.)

	20年3月 (前期)	20年6月 (今期)	20年9月 (見通し)
業況	0.0	-36.7	-34.7
売上額(前期比)	-2.0	-34.7	-14.3
収益(前期比)	-4.0	-30.6	-16.3
販売価格(前期比)	2.0	-6.1	-6.1
仕入価格(前期比)	10.0	-2.1	-4.2
人手過不足(過剰-不足)	-14.3	0.0	0.0
資金繰り(楽-苦)	4.0	-4.2	-4.1

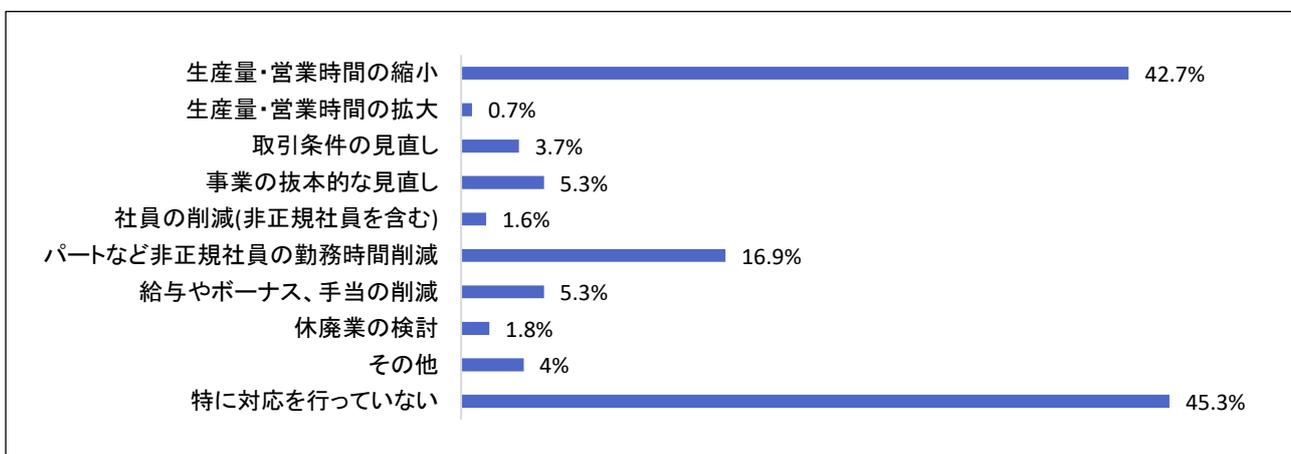
問1 新型コロナウイルスによる影響

新型コロナウイルスによる影響を受けたかについては、「国内消費の不振」が44.6.0%と最も多く、続いて、「営業活動の自粛」が39.3%、「展示会、イベント商談会等の中止・延期」が18.3%であった。地区別、規模別、業種別でも同じ傾向にあり、緊急事態宣言による経済活動の縮小要因が大きいと思われる。一方、特に影響なしは、淡路地区で18.1%、神明地区で16.2%該当している。



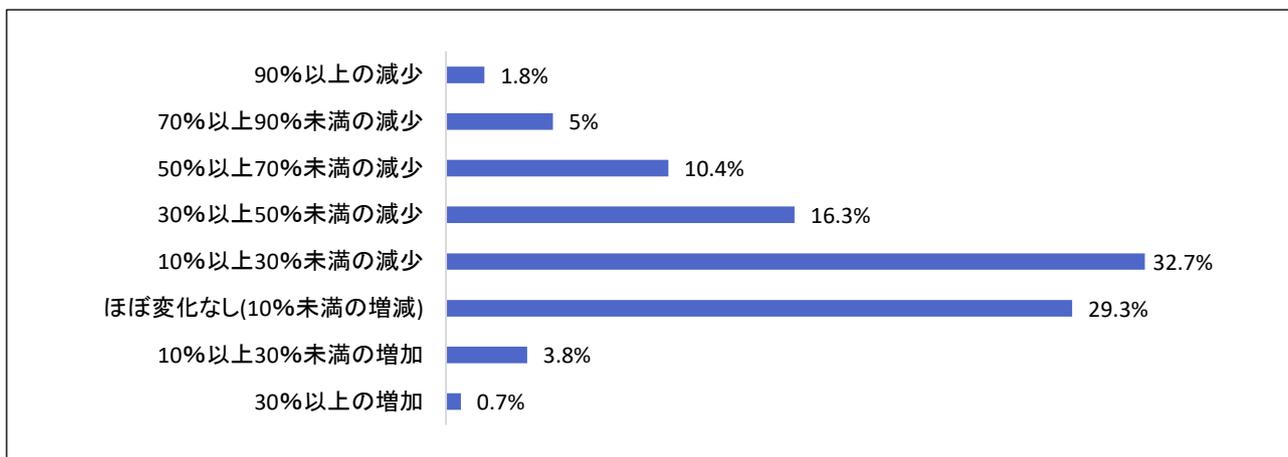
問2 新型コロナウイルスの感染拡大による対応

新型コロナウイルス感染拡大による対応としては、「生産量・営業時間の縮小」が42.7%、「特に対応を行っていない」が45.3%であった。地区別では、淡路地区は「特に対応を行っていない」が、50%近くを占め、神明地区は、「生産量・営業時間の縮小」が48.6%と最も多かった。業種別では、製造業・卸売業・小売業・サービス業で「生産量・営業時間の縮小」が一番多く、建設業・不動産業では「特に対応を行っていない」が60%超となるなど業種によりバラツキが見られた。



問3 今期の売上は、コロナウイルスの影響がなかった場合と比較してどの程度変化したか

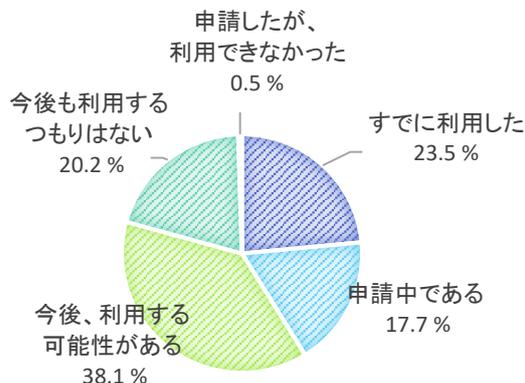
コロナウイルス感染の影響がなかった場合と比較した今期の売上高は、全体では、「10%以上 30%未満の減少」が 32.7%と一番多く、ついで「ほぼ変化なし（10%未満の増減）」が 29.3%となっている。地区別では、淡路地区が「ほぼ変化なし」が一番多く 31.1%、神明地区は 26.9%であった。業種別では、製造業・小売業・サービス業は「10%以上 30%未満の減少」が一番多く、建設業・不動産業は、ほぼ変化なし（10%未満の増減）が多い。一方、卸売業だけが「30%以上 50%未満の減少」が一番多く、消費停滞に左右されやすい傾向が窺える。



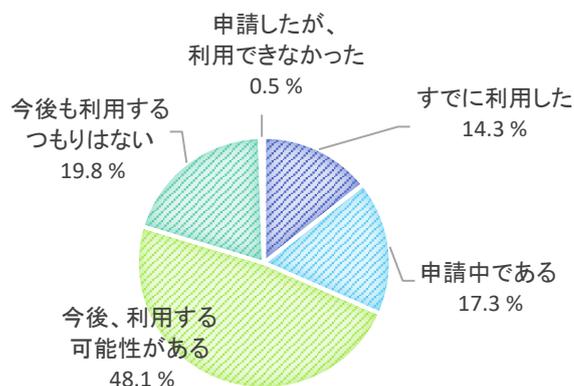
問4 新型コロナ対応支援制度及び政府の支援を利用したか

新型コロナ対策支援制度の利用状況は、「すでに利用した」・「申請中である」・「今後利用する可能性がある」を合計すれば約 80%と多数を占めており、コロナ禍による資金繰りへの悪影響の大きさが感じられる。地区別にみても淡路・神明地区とも差はなく、業種別では、不動産業のみ 50%程度に留まり、他業種は 80%内外となっている。政府による支援策の利用についても、「今後利用する可能性がある」まで含めると約 80%の利用率になる。地区別では、淡路・神明地区ともあまり差はなく、業種別では、不動産業のみ「今後利用する可能性がある」まで含めて約 55%の利用にとどまり、コロナ禍の影響は他業種に比べると比較的に少ないように見受けられる。

新型コロナ対応の資金繰り制度



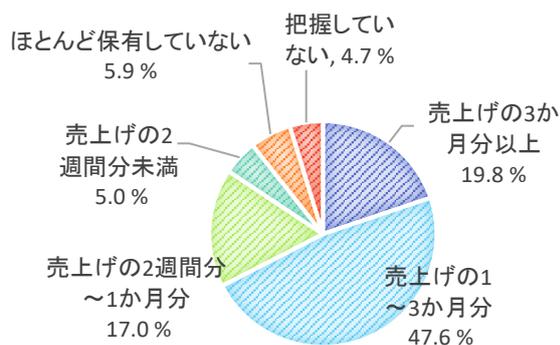
政府による支援策



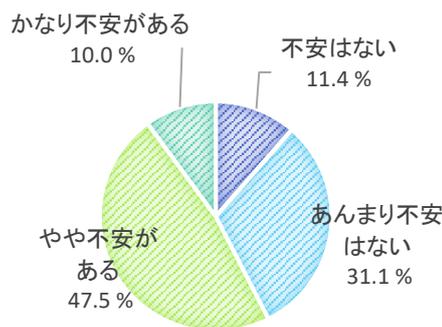
問5 新型コロナウイルス影響以前の現預金保有程度と2020年中の資金繰り

新型コロナウイルス影響以前の現預金保有割合は、「売上の1～3か月分」が47.6%と約半分を占め、「売上の3か月以上」を含めるとおよそ70%の割合となり、相対的に保有率が高い企業が多いように見受けられる。資金繰りについては、約60%の企業が「やや不安がある」・「かなり不安がある」と認識しており、コロナ禍収束時期の不確実性の影響が表れている。

現預金の保有程度



2020年中の資金繰り



【問合せ先】
 淡路信用金庫 業務部
 担当：柏木、簗田、三倉
 TEL：0799-22-1020

日本に住む全世帯参加の国勢調査はじまります。
Let's Join!!
#みんなの国勢調査

インターネット回答期間: 9/14(月) - 10/7(水)
 調査票(紙)での回答期間: 10/1(木) - 10/7(水)

国勢調査2020
<https://www.kokusei2020.go.jp/>

国勢調査100.
 総務省統計局・都道府県・市区町村

日本国内に住むすべての人と世帯を対象とした5年に一度の大調査、「国勢調査」を実施します。ご自宅に調査書類が届きましたら、忘れずにご回答をお願いします。回答はぜひスマホやパソコンからお願いします。

：兵庫県企画県民部

わたしたちのマチの元気企業 ⑨

《たねさん 釜焼きチャーシューと中国茶》



0799-20-5479

旅色を見たお伝えいただくとスムーズです。



《オリジナル叉焼が人気の中華カフェ》

淡路島の洲本市にあるオリジナル“淡路島叉焼（チャーシュー）”を使った料理が名物の店です。“淡路島叉焼”は、兵庫県認証食品の「えびすもち豚」を使い、独自製法で味付けから煮込みまで行い、外はカリッと中はジューシーに仕上げた手作り叉焼です。単品はもちろん、「焼き物プレート」や「ランチボックス」などで味わえ、お酒のつまみにもピッタリです。テイクアウト可能な商品も多数揃えており、名物の叉焼をはじめ、季節の果物を使ったフレッシュジュースやタピオカドリンクなどもあります。また 20 種類以上の中国茶アレンジドリンクは、自分好みの飲み方をセレクトできます。屋外にテラス席があり、天気の良い日にゆったりと寛げます。



《お土産にも最適な“淡路島叉焼”》

オリジナル製法で仕上げた絶品叉焼は、お土産用もあります。真空パックで密封しているのので、長期保存が可能ですし、きれいにラッピングもしているので贈り物としてもおすすめです。自宅でも是非“淡路島叉焼”を堪能してください。



《貸しスペースとしても利用可能な屋外空間》

屋外には、ウッドデッキのテラス席と広々とした中庭が備わり、家族での食事を楽しんだり、ペットと一緒に寛いだりできる自由なスペースになっています。今後は、グランピングやフリーマーケットなど、イベント用スペースとして積極的に開放していく予定です。

〈会場情報〉 広さ 約 200 m² 収容人数 30~80 名程度

飲食店併設のため、基本的なインフラは整っています。

トイレ・水道・電気・Wi-fi 等

たねさん

釜焼きチャーシューと中国茶

兵庫県洲本市本町5丁目4-18

ご予約は 090-1221-5351 (店舗)

F B <https://www.facebook.com/tanesankitchen>

わたしたちのまちの元気企業 ⑩



淡路鉄工株式会社は 1946 年に淡路島（旧津名郡北淡町）で製缶溶接業を創業し、1956 年に神戸市兵庫区須佐野通に移転、1967 年に神戸市西区の神戸鉄工団地に工場を建設いたしました。その後主要取引先からの大型構造物対応への依頼もあり、1983 年に加古郡播磨町に播磨工場を建設いたしました。播磨工場は現在では 40t+40t+20t の天井クレーンと 3000 トン油圧プレス等の設備があり、1 ブロック 100t 弱の橋梁ブロックの製作実績もございます。

主要製品は現在、橋梁・建築鉄骨などの溶接構造物の製作となっており、ISO9001・国土交通大臣認定鉄骨製作工場(M グレード)を取得しております。

また過去には圧力容器や沈埋函（海底トンネル）・ケーソンなどの海洋構造物などの大型溶接構造物を製作した実績もあります。

2010 年度には神戸市のハーバーハイウェイの落橋防止装置、2016 年には JR 明石駅からパピオスあかし、さらに 2 号線を跨いで魚の棚までの歩道橋、また 2017 年には淡路市野島の HELLO KITTY SMILE（ハローキティスマイル）の鉄骨を受注し地域に残る製品を製作することができました。

〈ハーバーハイウェイの落橋防止装置〉



〈明石駅からパピオスあかしの歩道橋〉



〈パピオスあかしから魚の棚の歩道橋〉



〒651-2124 神戸市西区伊川谷町潤和一ノ坪 730-10

TEL:078-974-1131 FAX:078-975-0150

<http://www.awt.co.jp>